

令和 7 年度

定額  
請負

天王寺動物園猛禽舎周辺舗装補修工事

# 設 計 書

工 事 期 限

令和 8 年 3 月 31 日

地方独立行政法人天王寺動物園施設課

# 設 計 概 要

1. 工 事 場 所	大阪市天王寺区茶臼山町1-108
2. 工 事 概 要	<p>1) 舗装補修工事を行う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アスファルト舗装撤去及び新設 約750㎡</li><li>・ます蓋撤去及び新設 7カ所</li><li>・植樹帯縁石新設 5カ所</li></ul>
3. 付 記	<p>1 本工事は、本設計書及び設計図面に基づくほか、国土交通大臣官房官庁営繕監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年度版」「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年度版」国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和7年版」並びに「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年度版」国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和7年版」に基づいて施工しなければならない。</p> <p>2 「指定建設業に係る建設工事の監理技術者」については、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けている者を専任で配置すること。</p> <p>3 本契約において、工事を下請負に付する場合には、下請負人が大阪市競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置期間中でないこと。</p> <p>4 本工事の設計労務単価は、令和7年度公共工事設計労務単価を採用している。</p> <p>5 本工事の施工上必要な書類は、「工事請負契約に関する提出書類一覧表(大阪市都市整備局)」による。</p> <p>ただし、請求書様式については「適格請求書適用案件」であるため、監督職員から別途提供する「適格請求書」様式による。</p>

## 「再生可能な建設副産物の取扱いについて」

1. 本工事において生じる再生可能なコンクリート塊・アスファルト塊の処分については、下記条件により処分先を想定して運搬費・処分費を計上しており、原則として、工事实績による運搬費・処分費の設計変更は行わない。

(コンクリート塊)

条 件	運搬車両	4	t 車	運搬距離	11.3	k m程度
-----	------	---	-----	------	------	-------

(アスファルト塊)

条 件	運搬車両	4	t 車	運搬距離	11.3	k m程度
-----	------	---	-----	------	------	-------

2. 本工事は、建設工事等に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずること。
3. 処分先への運搬については、道路交通法等による積載の制限を遵守すること。

## 特記仕様書

(個人情報等の保護に関する受注者の責務)

- 第1条 受注者は、この契約の履行にあたって個人情報及び業務に係るすべてのデータ(以下「個人情報等」という。)を取り扱う場合は、市民の個人情報保護の重要性に鑑み大阪市個人情報保護条例(平成7年大阪市条例第11号。以下「保護条例」という。)の趣旨を踏まえ、この契約書の各条項を遵守し、その漏えい、滅失、き損等の防止その他個人情報等の保護に必要な体制の整備及び措置を講じなければならない。
- 2 受注者は、自己の業務従事者その他関係人について、前項の義務を遵守させるために必要な措置を講じなければならない。
- 3 万一個人情報等の漏洩、滅失、き損等の事故が発生した場合は、受注者は直ちに発注者へ報告しなければならない。

(個人情報等の管理義務)

- 第2条 受注者は、発注者から提供された資料等、貸与品等及び成果物の作成のために受注者の保有する記録媒体(光ディスク、磁気テープ、パンチカード、紙等の媒体。以下「記録媒体等」という。)上に保有するすべての個人情報等の授受・搬送・保管・廃棄等について、管理責任者を定めるとともに、台帳等を設け管理状況を記録するなど適正に管理しなければならない。
- 2 受注者は、前項の記録媒体等を、施錠できる保管庫又は施錠及び入退室管理の可能な保管室に格納する等適正に管理しなければならない。
- 3 受注者は、第1項の記録媒体等について、業務を完了した後、速やかに廃棄、消去又は返却等するものとする。ただし、廃棄又は消去する際は、発注者の承認又は立会いを得て実施することとし、廃棄又は消去が完了した際には、その旨を文書により発注者に報告する等適切な対応をとらなければならない。
- 4 受注者は、発注者が求めた場合は、発注者へ記録媒体等を返還しなければならない。
- 5 受注者は、定期的に発注者からの要求に応じて、第1項の管理記録を発注者に提出しなければならない。
- 6 第1項に規定する個人情報等の管理が適切でないと認められる場合、発注者は受注者に対し、改善を求めるとともに、発注者が受注者の個人情報等の管理状況を適切であると認めるまで作業を中止させることができる。

(目的外使用の禁止)

- 第3条 受注者は、業務を行うための記録媒体等及び記録媒体等上の個人情報等を他の用途に使用し、又は第三者に提供してはならない。

(再委託等・外部持出しの禁止)

- 第4条 受注者は、個人情報等を取り扱う業務を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、発注者より文書による同意を得た場合はこの限りでない。
- 2 受注者は、発注者が指定する場合以外は、記録媒体等及び記録媒体等上の個人情報等を外部に持ち出してはならない。

(複写複製の禁止)

- 第5条 受注者は、業務を行うための記録媒体等及び記録媒体等上の個人情報等を複写又は複製してはならない。ただし、発注者より文書による同意を得た場合はこの限りでない。
- 2 前項ただし書に基づき作成された複写複製物の管理については、第2条を準用する。

(個人情報等の保護状況に関する検査の実施)

- 第6条 発注者は、必要があると認めるときは、受注者の個人情報等の保護状況について立入検査を実施することができる。
- 2 受注者は、発注者の立入検査の実施に協力しなければならない。
- 3 第1項の立入検査の結果、受注者の個人情報等の保護状況が適切でないと認められる場合、発注者は受注者に対し、その改善を求めるとともに、受注者が個人情報等を適切に保護していると認められるまで、作業を中止させることができる。

(事実の公表)

- 第7条 発注者は、受注者が保護条例第15条の規定に違反していると認めるときは、保護条例第16条第1項の規定に基づき、行為の是正その他必要な処置を講ずるべき旨を勧告することができる。
- 2 発注者は、受注者が前項に規定する勧告に従わないときは、保護条例第16条第2項に定める事実の公表を行うために必要な措置をとることができる。

(発注者の解除権)

- 第8条 発注者は、受注者が、保護条例の規定に基づく調査又は勧告に正当な理由なく協力せず、又は従わないときは、この契約を解除することができる。

## 暴力団等の排除に関する特記仕様書

### 1 暴力団等の排除について

- (1) 受注者（受注者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下同じ。）は、大阪市暴力団排除条例（平成23年大阪市条例第10号。以下「条例」という。）第2条第2号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は同条第3号に規定する暴力団密接関係者（以下「暴力団密接関係者」という。）に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をしてはならない。
- (2) 受注者は、条例第7条各号に規定する下請負人等（以下「下請負人等」という。）に、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をさせてはならない。  
また、受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をした場合は当該契約を解除させなければならない。
- (3) 受注者は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から条例第9条に規定する不当介入（以下「不当介入」という。）を受けたときは、速やかに、この契約に係る監督職員若しくは検査職員又は当該事務事業を所管する担当課長（以下「監督職員等」という。）へ報告するとともに、警察への届出を行わなければならない。  
また受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から不当介入を受けたときは、当該下請負人等に対し、速やかに監督職員等へ報告するとともに警察への届出を行うよう、指導しなければならない。
- (4) 受注者及び下請負人等が、正当な理由なく地方独立行政法人天王寺動物園に対し前号に規定する報告をしなかったと認めるときは、条例第12条に基づく公表及び大阪市競争入札参加停止措置要綱による停止措置を行うことがある。
- (5) 受注者は第3号に定める報告及び届出により、地方独立行政法人天王寺動物園が行う調査並びに警察が行う捜査に協力しなければならない。
- (6) 発注者及び受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者からの不当介入により契約の適正な履行が阻害されるおそれがあるときは、双方協議の上、履行日程の調整、履行期間の延長、履行内容の変更その他必要と認められる措置を講じることとする。

### 2 誓約書の提出について

受注者及び下請負人等は、暴力団員又は暴力団密接関係者でないことをそれぞれが表明した誓約書を提出しなければならない。ただし、発注者が必要でないと判断した場合はこの限りでない。

## **職員の公正な職務の執行の確保に関する特記仕様書**

発注者と本契約を締結した受注者は、この契約の履行に関して、発注者の職員から違法又は不適正な要求を受けたときは、その内容を記録し、直ちに発注者の地方独立行政法人天王寺動物園総務課(連絡先:06-6771-2150)に報告しなければならない。

## **個人情報等の保護に関する特記仕様書**

この契約の履行にあたって個人情報は、市民の個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報の保護に関する法律及び大阪市個人情報保護条例の趣旨を踏まえ、適切に取り扱わなければならない。

# 特記仕様書

## ◎下請負人の社会保険等の加入促進に関する取扱いについて

- 1 発注者と本契約を締結した受注者は、全ての次数の下請負人（建設事業者に限る。）の社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険をいう。以下同じ。）の加入状況を確認し、発注者に報告しなければならない。
- 2 前項の報告において、やむを得ず、社会保険等の未加入の建設事業者を下請負人とする場合には、下請負人に対して、社会保険等に未加入である旨を地方独立行政法人天王寺動物園に報告するとともに未加入である旨を地方独立行政法人天王寺動物園が社会保険等担当機関に通報することを周知しなければならない。

請負者等各位

地方独立行政法人天王寺動物園

供用中の施設等において工事または調査を実施するにあたっての請負者等の  
遵守事項

下記について、遵守願います。

#### 記

1. 作業全工程の予定表を監督職員に提出するとともに、事前に施設管理者にも説明を行うこと。
2. 敷地内立ち入り禁止作業を行う時は、作業日毎に施設管理者に申し出て、当日の作業内容を伝え、了解を得たうえで行うこと。
3. 作業日毎に作業の終了の報告を施設管理者に行うこと。
4. 作業を行うにあたり、契約以外の内容でやむを得ず施設もしくは用地の一部を加工、移動、撤去等する場合は、施設管理者の同意を得ること。

その場合は、監督職員並びに施設管理者と協議をしたうえで、安全対策を請負者等の責任で施すこと。



天王寺動物園猛禽舎周辺舗装補修工事

工事費総額金 円也

工事価格金 円也

消費税及び地方消費税  
相当額金 円也

